

夢のある農業・農村を 実現しませんか！

～文部科学省「職業実践力育成プログラム」認定～

いわてアグリフロンティアスクール 平成31年度受講生募集

主催 **いわてアグリフロンティアスクール運営協議会**
(岩手大学、JAいわてグループ、岩手県)

I いわてアグリフロンティアスクールの概要

<教育理念>

国際競争力のある高生産性ビジネス農業を育成すべく、経営感覚・企業家マインドを持って経営革新や、地域農業の確立に取り組む先進的な農業経営者等を養成する。

<教育目標>

1. 国際競争時代に通用する経営能力とビジネス感覚の養成
2. 最先端の農業生産技術習得と農業イノベーションの達成
3. 消費者ニーズを敏感にキャッチするマーケットイン戦略の習得と生産・製品の開発や流通イノベーションの達成
4. 新しい時代を担っていく夢を原動力とした戦略・実行計画の策定と自己変革精神の習得

<教育科目と教育方法>

経営力とビジネス感覚の高い農業者等の育成と時代や経営、さらには地域の課題に対応できる指導者の養成を図る教育プログラムが、受講者のニーズや事情に合わせて効果的に行えるよう組み立てられています。また、教育方法は、講義だけではなく、実習、演習、現地研修など多様な教育スタイルで行います。

平成28年度から、選択できる科目として「6次産業化推進」及び「農業農村マネジメント」を新設しました。

戦略計画の策定と 経営管理	農業政策をふまえて農業経営者の機能と役割、経営者能力等を明確にし、農業経営管理に必要なノウハウを学習します。 また、自らの経営の現状を分析・診断したうえで経営理念と経営目標を設定し、これを実現するための「戦略計画」を策定します。
マーケティング	農産物をめぐるマーケット環境や流通の仕組み、農業の6次産業化に向けた考え方を学習します。 さらに、マーケティング・ミックス（製品戦略、価格戦略、流通戦略、販売促進戦略）の観点から商品開発の企画と意思決定、意匠の役割について学習します。
農業生産管理	農産物の生産に必要な土壌管理、病害虫管理等の生産現場における実態と改善方策の考え方について学習します。
6次産業化推進	農業経営の安定を図るための6次産業化をビジネスとして推進するために必要な鮮度保持や流通、農産加工等について学習します。
農業農村マネジメント	農業を核とする地域の活性化に向けた取組を支援するため、地域のリーダーやマネージャー役となる人材として必要な知識や能力について学習します。

このプログラムは、平成27年12月に^{※1}文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）」に認定、及び平成28年1月に^{※2}厚生労働省「専門実践教育訓練講座」に指定されました。

※1）社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定する制度です。

※2）雇用保険の加入等、所定の条件に適合する場合、受講生又は事業主に対する支援を受けることができます。（別紙参照。詳細は「いわてアグリフロンティアスクール運営協議会事務局」にお問い合わせください。）

<平成31年度教育プログラム>

【凡例】◎…必修科目 ○…選択科目

科目名	日数	時間数 (単位:h)	科目群				
			農業 経営	6次 産業化	農村地域 活動		
「経営管理」 科目	農業を巡る内外情勢	講義	0.5	3	○	○	○
	農業経営の発展と農業協同組合	講義	1	6	○	○	○
	人的資源・労務管理	講義	1	6	○	○	○
	経営成長・経営継承	講義	1	6	○	○	○
	農業経営戦略論	講義	1	6	○	○	○
	会計・財務管理と経営診断	講義・演習	2	12	◎	◎	—
「戦略計画」 科目	農業経営戦略演習	演習	1	6	◎	◎	◎
	経営改善計画演習	演習	1	6	◎	◎	—
	農業・食ビジネス戦略計画の策定	講義・演習	2	12	◎	◎	—
	地域振興戦略計画の策定	講義・演習	3	18	—	—	◎
	戦略計画のプレゼンテーション	発表	1	6	◎	◎	◎
「農業生産管理」 科目 ※1) 4科目のうち 9時間以上選択	土壌管理(土壌・肥料)	講義	1	6	○	—	—
	病害虫管理(防除・農業)	講義	1	6	○	※1	—
	農場の衛生管理	講義	1	6	○	○	—
	農業機械	講義・演習	0.5	3	○	—	—
「6次産業化推進」 科目 ※2) 4科目のうち 9時間以上選択	鮮度保持・流通技術	講義	1	6	○	○	※2 ○
	農産加工品のマーケティング	講義	1	6	○	○	
	地域資源活用論	講義	1	6	—	○	
	食産業ビジネス論	講義	1	6	—	○	
「農業農村 マネジメント」 科目	地域担い手形成論	講義	1	6	—	—	○
	地域マネジメント論	講義・演習	1	6	—	—	○
	地域リーダー活動演習	講義・演習	1	6	—	—	○
	都市農村交流論	講義	1	6	—	—	○
	地域活性化論	講義・演習	2	12	—	—	◎
「マーケティング」 科目	食の安全管理	講義	1	6	○	○	○
	商品開発	講義	0.5	3	○	○	○
	デザインとブランド	講義・演習	1	6	○	○	○
	インターネットを利用した マーケティング	講義	1	6	○	○	○
現地研修等 ※3) インターンシップ を行う者は*科目のい ずれかと振替	現場スタディ	現地研修	2	12	○	○	○
	マーケティング改善演習*	演習・現地研修	2	12	○	○	○
	農業技術先進地研修*	現地研修	2	12	○	—	○
	6次産業関連現地研修*	現地研修	2	12	—	○	—
	アグリ管理士との意見交換	講義・意見交換	1	6	○	○	○
	インターンシップ【選択科目】	現地研修	1	6	※3 ○		
総授業時数					165時間		

Ⅱ 受講者の募集要項

いわてアグリフロンティアスクールでは、平成31年度受講者を下記の要領で募集します。

<募集対象者>

岩手県内に居住する下記のいずれかに該当する者

- ①農業経営者、農業後継者、農業従事者等
- ②6次産業化に取り組んでいる者又はそれを支援している者
- ③農村地域活動に携わる者（地域振興、土地改良、担い手育成等のリーダー又はそれらの者を支援している者等）

<応募資格>

下記の要件をいずれも満たす者

- ①大学に入学することができる資格を有すること
※学校教育法第90条で規定された「高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
…(中略)…これと同等以上の学力があると認められた者とする。」
- ②農業又は農業に関連する事業の経験を有すること

<募集定員>

35名

<募集期間>

平成31年1月15日（火）～平成31年3月15日（金）【1次募集】

※1次募集締切以降、帰県した者等を対象に2次募集（若干名）を行う予定です。

※専門実践教育訓練に係る支援を受けようとする場合は、受講開始1カ月前までに岩手労働局等に申請する必要があるため、「いわてアグリフロンティアスクール運営協議会事務局」にその旨お申し出ください。

<応募書類>

所定の入学申込書に黒のボールペンで必要事項を記載してください。

上半身、脱帽、正面向き、背景無しの写真1枚(4cm×4cm)を貼付してください。

<応募書類の提出>

必要事項を記載済みの入学申込書を次頁に記載の提出先へ郵送して下さい。その際、封筒の表に「入学申込書在中」と朱書きしてください。

＜応募書類の提出先・問い合わせ先＞

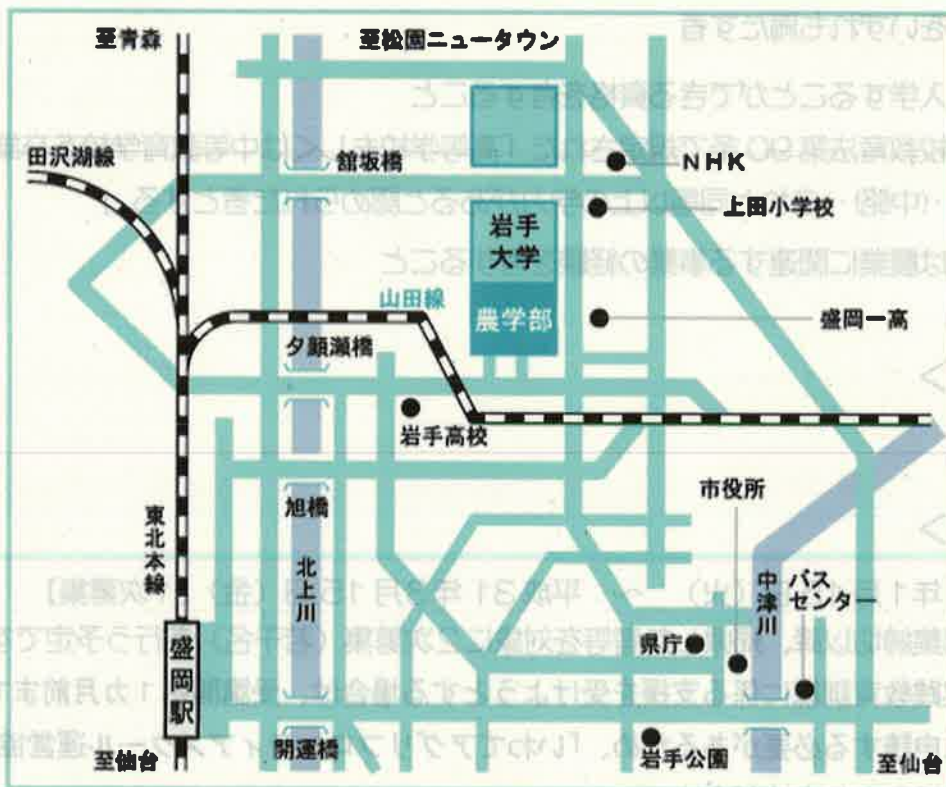
〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18-8

いわてアグリフロンティアスクール運営協議会事務局（岩手大学農学部地域連携推進室）

TEL：019-621-6231 FAX：019-621-6107

Mail：atiren@iwate-u.ac.jp

ホームページ：http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/iafs/index.html



盛岡駅から岩手大学農学部まで約2km

徒歩 約20分

バス 盛岡駅11番乗り場より松園バスターミナル行き

または桜台団地行き乗車、岩手大学前下車

(約20分おき、所要時間約10分)

入学申込書

いわてアグリフロンティアスクール
校長 高畑義人 様

氏名	ふりがな	性別	住所(連絡先)	
	印		〒 -	
生年月日	昭和 平 年 月 日	男・女	TEL	-
	年齢 歳		FAX	-
			携帯	-
			PCMail	
			携帯Mail	
最終学歴	昭和・平成 年 月卒業 学校名:		※科、学科、課程名も記入願います	
応募区分 (カッコ内にも○を付けてください)	①農業者(1. 農業経営者 2. 農業後継者 3. 農業従事者等) [※認定農業者の方は認定年度:平成 年度] ②6次産業化に取り組んでいる者又はそれを支援している者 ③農村地域活動に携わる者 (地域振興、土地改良、担い手育成等のリーダー又はそれらの者を支援している者等)		写真添付のこと (4cm×4cm)	
受講希望 科目群 (カッコ内にも○を付けてください)	①農業経営科目群 ②6次産業化科目群 ③農村地域活動科目群			
農業経験 年数	年	※研修している場合は研修先: (住所:)		
通学方法 (○付け)	1 電車 2 バス 3 自家用車 4 その他			
厚生労働省専門実践教育訓練給付金受給希望の有無 (別紙を参照のうえ、いずれかに○付け)			1 希望する 2 希望しない	

下記のことについてご記入ください。

1: 農業に対する夢、希望、今後の経営方向

2: 応募した動機、本スクールで学びたいこと、期待していること

(裏面に続く)

書込申学入

3: 経営等の状況

(1): 受講希望科目群「①農業経営」を選択した方は以下に記入願います。

①: 青色申告の経験 有 ・ 無 農業専従者数: 男 人 女 人 (本人を含む)

法人名(法人化している場合)

②: 経営規模: 水田 a 普通畑 a 樹園地 a ハウス・温室 棟 m² 畜舎 棟 m²

③: 主要作物、果樹の作付け面積(上位3品目)

作目:	a	作目:	a	作目:	a
-----	---	-----	---	-----	---

④: 家畜飼養頭数 乳牛 頭 肉牛 頭 肉豚 頭 その他 () 頭・羽

(2): 受講希望科目群「②6次産業化」を選択した方は以下にご記入願います。

①: 農業を営んでいる方... 主な作目 規模 a

農業以外の方... 勤務先 (TEL)

②: 現在取り組んでいる品目、製品等と規模

[]

③: 今後取り組みたい品目、製品等と規模

[]

(3): 受講希望科目群「③農村地域活動」を選択した方は以下にご記入願います。

①: 農業を営んでいる方... 主な作目 規模 a

農業以外の方... 勤務先 (TEL)

②: 現在実施している活動

[]

③: 今後取り組む予定の活動

[]